

—毎年9月1日は「防災の日」です—

9月1日は 『防災の日』

「防災の日」は、大正12年9月1日に東京都・神奈川県・千葉県・静岡県の南関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらした「関東大震災」の日を教訓に、政府、地方公共団体などの防災関係諸機関を始め、広く国民の一人ひとりが台風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波などの災害についての認識を深め、これらに対する備えを充実・強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減を図ることをねらいとして定められました。



地域や家庭で災害に備える

今年6月14日午前8時43分、岩手県内陸南部でマグニチュード7.2、最大震度6強の「岩手・宮城内陸地震」が発生。また7月24日午前0時26分岩手県沿岸北部を震源とするマグニチュード6.8、最大震度5強の地震が発生しました。今回の地震被害の特徴は、建物被害が少なく、大規模な土砂災害被害が数多く発生したことが挙げられます。

また、大雨による災害も数多く発生しています。全国各地で台風や集中豪雨により河川が増水、氾濫し、床下・床上浸水の被害、土砂崩れによる家屋の倒壊も発生しています。県内でも長浜市において7月18日河川の氾濫により200戸以上が浸水被害に遭われました。

近年、大規模地震や大雨、台風による風水害被害が日本各地で数多く発生しています。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われてきましたが、これらの状況から見ると、災害を忘れる前にもう次の災害が発生しています。滋賀県においても今後「琵琶湖西岸断層帯地震」や「東南海・南海地震」の発生の可能性が指摘されています。今一度防災について考えてみましょう。

「向こう三軒両隣」

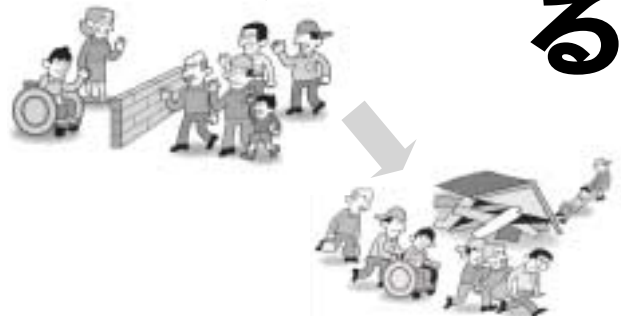
大規模な災害が発生したとき、交通網の寸断、同時多発火災などにより行政や防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのようなときに力を発揮するのが、自主防災組織などの「地域ぐるみの協体制」です。

これまでの被災地では地域住民が自発的に救助活動をして被害の拡大を防ぎ、その後の地域復興にも大きな力を発揮したり、避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えてこられました。このように自分たちの住む地域を守るかどうかは日頃の備えと隣近所の助け合いにかかっているといえます。

「地域防災力」の向上を目指して

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちの町は自分たちで守る」という心構えを持ち、災害が起きたときは、まず自分の身を守り、家族の安全確認、そして隣近所、地域全体の安全を確認するなど積極的に防災活動に参加し、緊急事態だからこそ発揮できる「地域防災力」をみんなで作っていきましょう。

ふだんからお互いに声をかけあうと



いざというとき、助け合える



災害から身を守るには…

①把握する

住んでいる地域のどこが危険でいざというときにどう避難すればいいのか。「防災ハザードマップ」などを作成し、日頃から危険箇所や避難経路を把握しておきましょう。

②避難する

被害の中でも外出時の死亡事故が相当数にのぼっています。台風や大雨の際の外出は極力控えるようにしましょう。また大雨警報や土砂災害情報などに注意し、避難勧告が出されたら速やかに避難しましょう。

③声をかける

逃げ遅れによって死亡された高齢者の人がたくさんおられます。避難勧告に気づいていない人には声を掛けるよう心掛けましょう。またひとりでは逃げられない人の避難には、地域の協力が必要です。日頃より防災について話し合い、助け合いながら、犠牲者ゼロを目指しましょう。

◎「避難準備情報」

気象条件等により、過去の災害の発生例、地形等から判断すれば災害発生のおそれがあり、事態の推移によっては避難勧告、避難指示を行うことが予想される場合に
出される情報です。

◎「避難指示」

条件がさらに悪化し、避難すべき時期が切迫した場合、または災害が発生し、現場に残留者がある場合に
出される指示です。

◎「避難勧告」

対象地域の土地、建物などに被害が発生する恐れのある場合に、住民に対して行われる勧告です。

重要なポイントです
「避難勧告」と「避難指示」

「平成20年度日野町総合防災訓練」を実施します！

町では「日野町地域防災計画」に基づき、風水害および地震等に伴う各種災害の発生を想定し、町、防災関係機関および地域住民の参加協力のもと、下記の内容の総合防災訓練を実施します。

記

訓練日時：9月7日（日） 午前7時から10時まで

訓練場所：日野町立西大路小学校グラウンドおよび周辺施設

訓練想定：9月7日（日）午前7時に大規模地震が発生し、日野町では震度6強を記録したことを想定し、防災訓練を行います。

参加団体：地元住民、日野町消防団、東近江行政組合消防本部、滋賀県防災航空隊、日野町赤十字奉仕団、日野町建設工業会、日野町社会福祉協議会、日野町

その他：訓練当日は緊急車両のサイレン、防災ヘリコプターの騒音等により、住民の皆さんには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

◆問い合わせ先 総務課 総務担当 ☎②6500 有線⑤7762



▲避難収容施設に向かう様子



▲車に閉じ込められた人を救助する訓練

迅速・安全・的確 消防団の基本技術を競う

第28回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

7月20日(日)、真夏の炎天下の中、日野川ダムグラウンドにて「第28回日野町消防団ポンプ操法訓練大会」が開催されました。

この大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を目的に毎年この時期に開催され、迅速、安全、的確に消防ポンプなどを扱う消防活動を行うための基本技術を競い合います。

消防団員の皆さんは、優勝を目指し約1カ月間、早朝から訓練に励んでこられました。本番では、チームが心をひとつにして訓練の成果を発揮し、見事なポンプ操法を披露されました。出場されたどのチームも操法終了後はやり遂げた満足感、充実感でいっぱいの様子でした。

この大会を通して得た操法技術と団員同士の団結は、今後地域の防災活動に活かされることでしよう。

なお、結果は左記のとおりです。優勝チームの皆さん、おめでとうございます。また出場された消防団員の皆さん、ご苦労さまでした。

第28回日野町消防団ポンプ操法訓練大会結果

□小型ポンプの部

優勝 第1分団

北浦貴志さん、藤岡健さん
西村浅文さん、岸田善英さん

□ポンプ車の部

優勝 第1分団鎌掛

岡元さん、岡保和さん、
福本敏さん、瀬川一幸さん、
奥村治男さん



ポンプ車の部 優勝 第1分団鎌掛



小型ポンプの部 優勝 第1分団

心を一つに、全力出し切る

第43回滋賀県消防操法訓練大会

8月3日(日)、滋賀県消防学校(東近江市)で第43回滋賀県消防操法訓練大会が開催されました。大会には日野町から日野町消防団第2分団がポンプ車の部に出場され、結果12位という成績を収められました。

当日は大変暑い中、県下各消防団員をはじめ、出場選手のご家族、消防団員OBが会場に駆け付け、大きな声援が沸き起こり、人の熱気に包まれていました。

県内の各代表チームがポンプ車の部(18チーム)、小型ポンプの部(12チーム)にわかれ操法を披露され、日野町消防団第2分団も5月20日から大会当日までの2カ月半の早朝訓練の成果を、本番1回限りという極度のプレッシャーの中、精一杯披露されました。

今大会出場に向けた第2分団を中心とする日野町消防団一丸となった取り組み(訓練)を通じ、消防団員の結束がより強まりました。

出場された選手皆さん、また、2カ月半にわたって選手を支えた第2分団の皆さん、日野町消防団員の皆さん大変ご苦労さまでした。

【出場選手紹介】

- | | |
|-------|---------|
| (指揮者) | 嶋村 昌宏さん |
| (1番員) | 小林 成光さん |
| (2番員) | 川原 正也さん |
| (3番員) | 吉沢 義之さん |
| (4番員) | 横山 昌典さん |
| (補助員) | 大西 敏幸さん |
| | 園城 久志さん |



補助員 補助員 4番員 3番員 2番員 1番員 指揮者

